

大阪府の治水対策の現状について

大阪府 都市整備部
河川室

1. これまでの治水対策について

【大阪府域の洪水被害実績と治水対策】

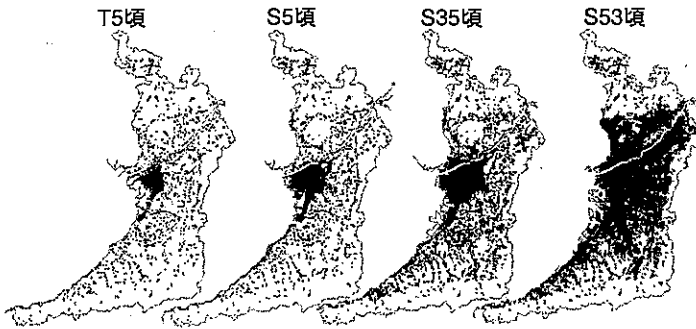
- 大阪府では、時代毎の被災状況を鑑み各地域で事業を重点的に実施。
- S30～40代：台風による高潮災害（S9室戸、S25ジェーン、S36第二室戸）を受けた、西大阪地区の高潮対策を重点的に実施。
- S40～50代：S42災害及び万博が開催された北大阪地区の洪水対策、S47、S57災害で大きな被害を受けた東大阪地区の内水対策を含む総合治水対策を、それぞれ重点的に実施。
- S50代以降：北大阪、東大阪に加え、S57災害を受けた南大阪地区で洪水対策を実施。

【計画目標】

○大阪府は、府域の河川の流域の大部分が市街地であり、低地の面積・人口が大きく被害ポテンシャルが高い。

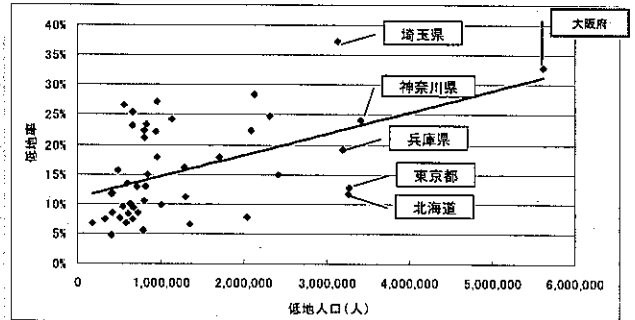
⇒管理する全ての河川で計画目標を1/100(時間雨量80ミリ程度)と設定。学識経験者による検討会での審議を経て、大阪府河川整備長期計画(平成8年3月)に位置づけ。

■市街地の変遷



出展：「大阪府土木部60年のあゆみ」

■全国の低地内人口と低地割合(低地面積/都道府県総面積)



※出展「国土統計揺籃H12」、総務省HP「統計データ」

【参考データ】

- ・低平地が多い(低地割合：33%【全国2位】)
- ・低平地に人口が集中(低地内人口：560万人【全国1位】)

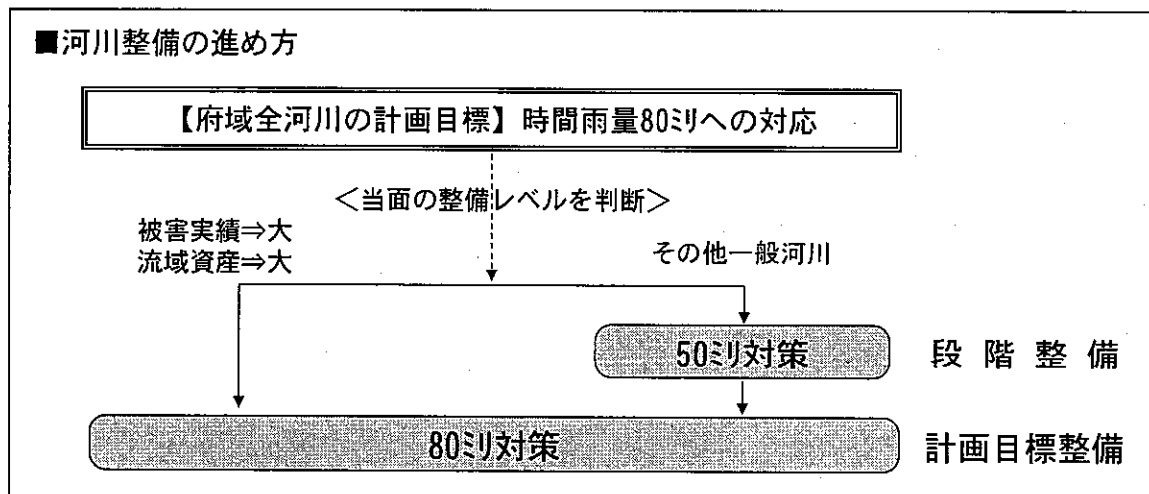
【河川整備の進め方】

○計画目標(80ミリ)を一度に全ての河川で達成するには、莫大な時間と費用がかかることから、以下の進め方により河川整備を実施。

- ・過去の被害実績、流域に人口・資産が集中し鉄道や主要な道路等があるなど、水害による影響が大きい河川 ⇒80ミリ対策を推進。
- ・その他の河川 ⇒50ミリ対策(段階整備)を推進。

○「大阪府都市基盤整備中期計画(H13.9策定)」に基づき優先順位付けし、重点的に事業を進める箇所を決定。

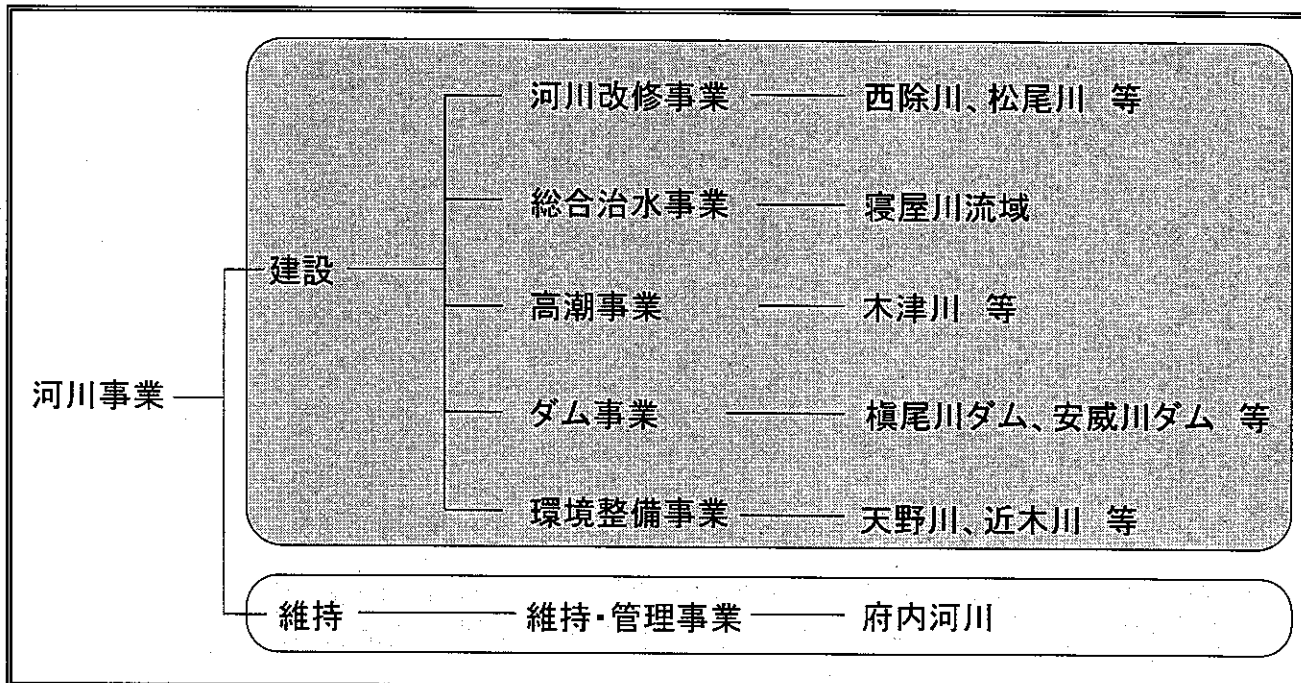
■河川整備の進め方



2. 大阪府の治水対策の現状について

【大阪府の治水対策】

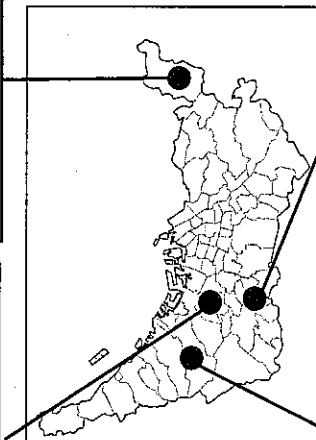
○河川事業の体系は以下のとおり。



4

【河川改修事業】

- 「あんぜん・あんしん」な生活・まちづくりのため、河道拡幅、河床掘削等を実施し、治水安全度の向上を図る。
- 河川は、都市部に残された貴重なオープンスペースであるため、潤いと安らぎに満ちた水と緑豊かな多自然川づくりを進め、親水性にも配慮した改修を実施。



5

【総合治水事業】

○水害に対して、安全で快適な街づくりを行なうため、府・市・流域住民が一体となってあらゆる治水対策を実施。

■都市化が発展した土地利用の中で、通常の河道改修に加えて、公共用地等を利用した、「流す施設」「貯める施設」の整備を実施。

【流す施設】

【河道改修】

恩智川

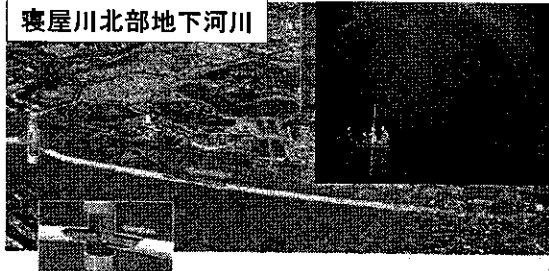


特殊堤
(パラペット)

計画高水位

【地下河川事業】

寝屋川北部地下河川



【貯める施設】

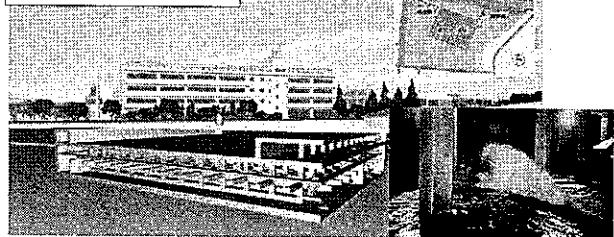
【遊水地事業】

寝屋川治水緑地

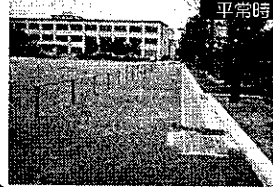


【流域調節池事業】

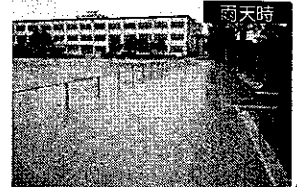
東諸福流域調節池



【雨水貯留浸透事業】



平常時



雨天時

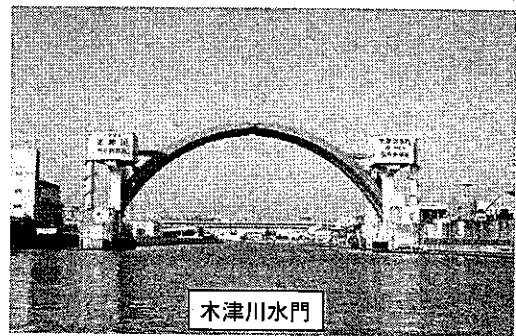
【高潮・耐震対策事業】

- 高潮対策事業：伊勢湾台風級の大型台風による高潮に対処できるよう、防潮施設（水門、防潮堤防）を実施。計画高潮位は概ね確保。
- 耐震対策事業：近い将来発生が懸念される東南海・南海地震や直下型地震等により、防潮施設の機能が損なわれ、浸水被害が発生する恐れがある箇所の耐震補強を実施。

高潮対策



二級河川 大川



木津川水門

耐震対策



一級河川 木津川(対策前)



一級河川 木津川(対策後)

【ダム事業】

○洪水調節および河川環境保全等のために必要な流量確保を行う。

【建設中のダム】 安威川ダム、槇尾川ダム

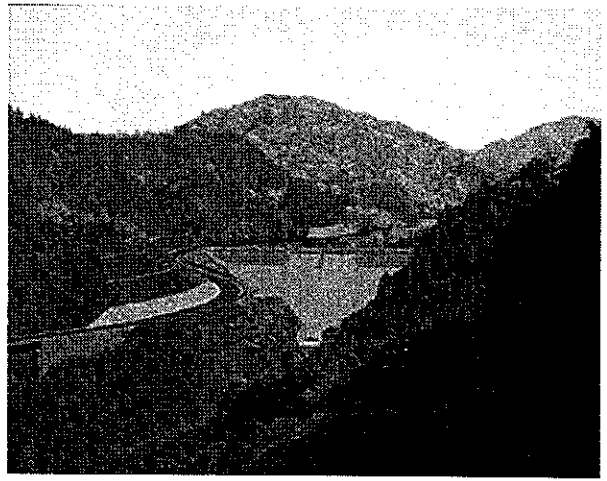
【完成しているダム】 箕面川ダム（昭和58年度）、狭山池ダム（平成13年度）

安威川ダム



ダムの位置：大阪府茨木市生保・大門寺・安威地先
ダムの種類：ロックフィルダム
総貯水容量：1,800万立方メートル
総事業費：約1,370億円

槇尾川ダム



ダムの位置：大阪府和泉市仏並町坪井町地先
ダムの種類：重力式コンクリートダム
総貯水容量：140万立方メートル
総事業費：約128億円

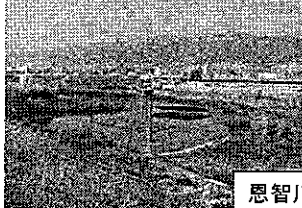
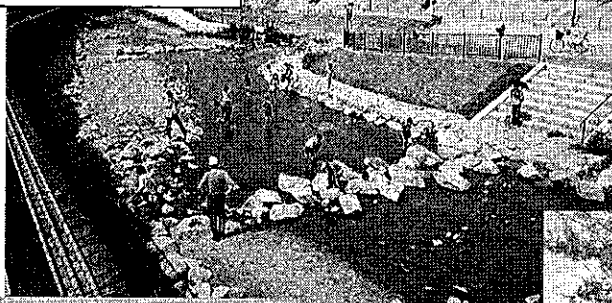
8

【環境整備事業】

○治水機能と調和のとれた河川環境の創造に向け、地域住民やNPO等とも協働し、河川特性や地域特性に応じた魅力ある水辺空間の整備を実施。

- ・水都大阪の再生に向け、都心のオアシスとして利活用される水辺の環境づくり
- ・河川をまちの環境軸として活かし、地域のコミュニティ活動の場となる河川環境づくり
- ・快適な水辺空間整備や、多彩な水辺利用のあり方などについて、地域住民等が参画したワークショップで検討し、整備を実施。

寝屋川幸町親水公園整備



恩智川治水緑地(植生浄化)



大川八軒家浜船着場整備



天野川桜づつみ整備



ワークショップ風景

9

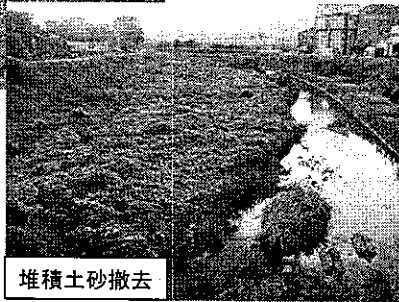
【維持・管理事業】

○施設の延命化、府民協働による適切な河川管理により、府民の安全・安心の確保とともに快適な河川環境の保全を行う。

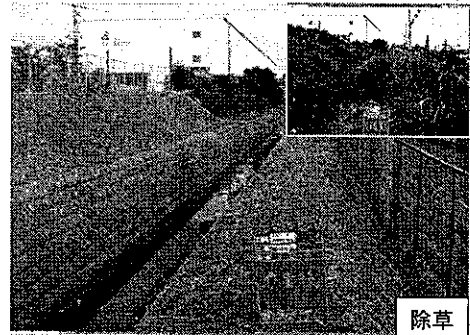
- ・護岸補修、堆積土砂の撤去など治水上の安全性の確保
- ・除草や清掃など快適性の確保
- ・計画的な補修による施設の延命化
- ・アドプト制度等を活用した府民協働による維持管理体制の構築



護岸補修



堆積土砂撤去



除草

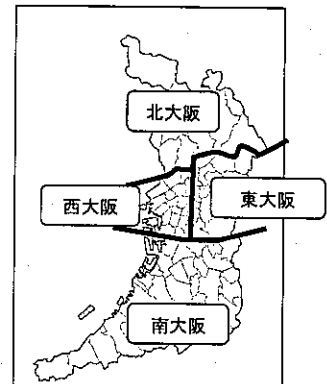
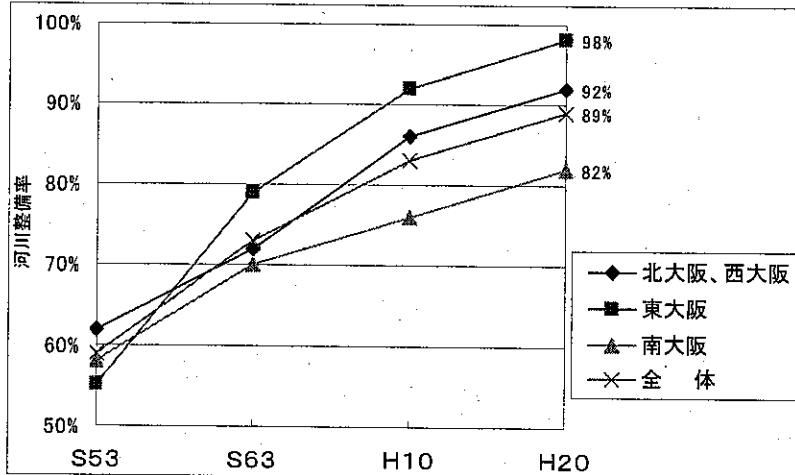


府民協働(アドプト・リバー)

【これまでの治水対策の成果】

- 時間雨量50ミリ対策の推進による治水安全度の確保（約9割程度）。
 - 寝屋川流域で総合的な治水対策を全国に先駆けて実施。
 - ・河川以外の治水施設による対策（遊水地や地下河川、流域調節池など）
 - ・流域で雨を貯め、地下に浸み込ませる対策（学校、公園等での雨水貯留・浸透施設設置など）
- を従来の河川改修に組合わせて実施。

■50ミリ対策進捗率

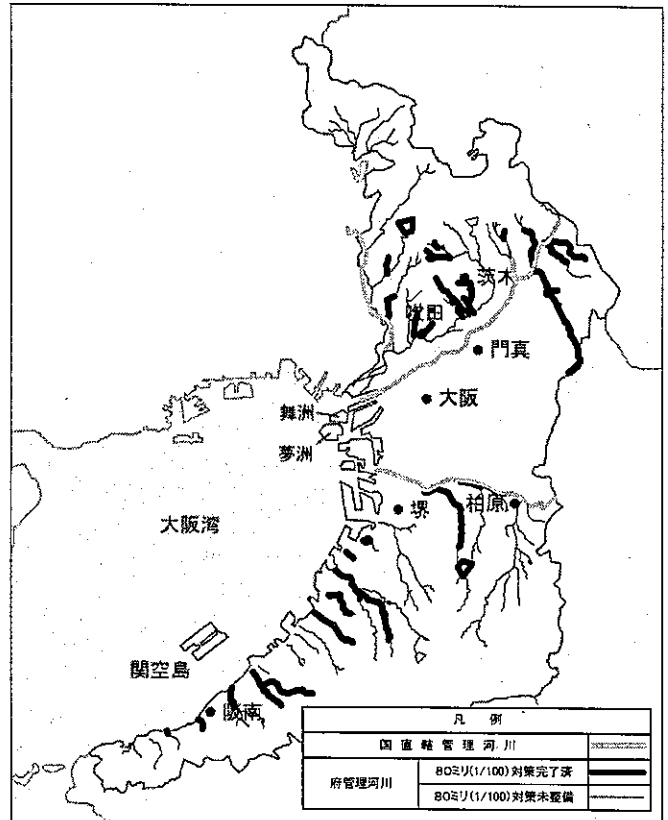
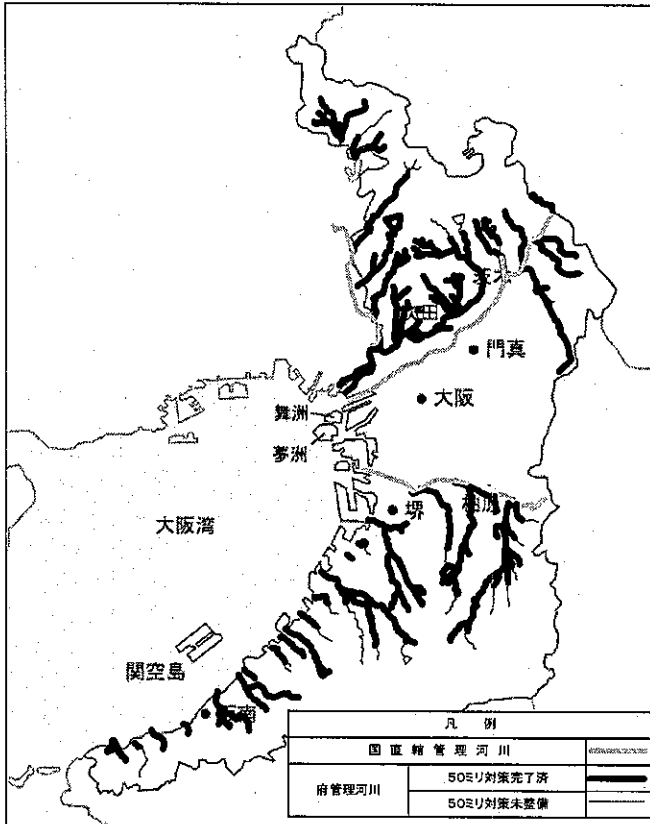


【河川整備の進捗率】

- ・平成20年度末時点での進捗率 50ミリ対策：89%、80ミリ対策：35%。
- ・要改修延長621kmの内、50ミリ対策：554kmが整備済。80ミリ対策：219kmが整備済。

■50リ対策の進捗状況

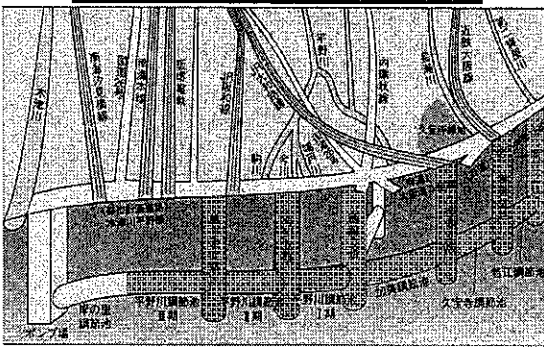
■80リ対策の進捗状況



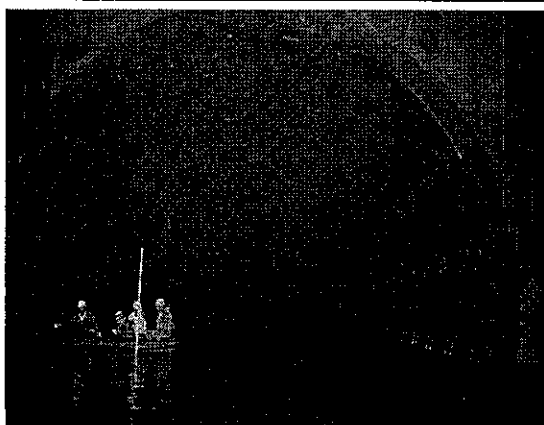
12

■寝屋川南部地下河川の推進～平野川調節池の効果～

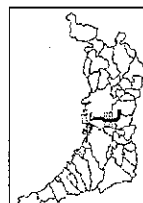
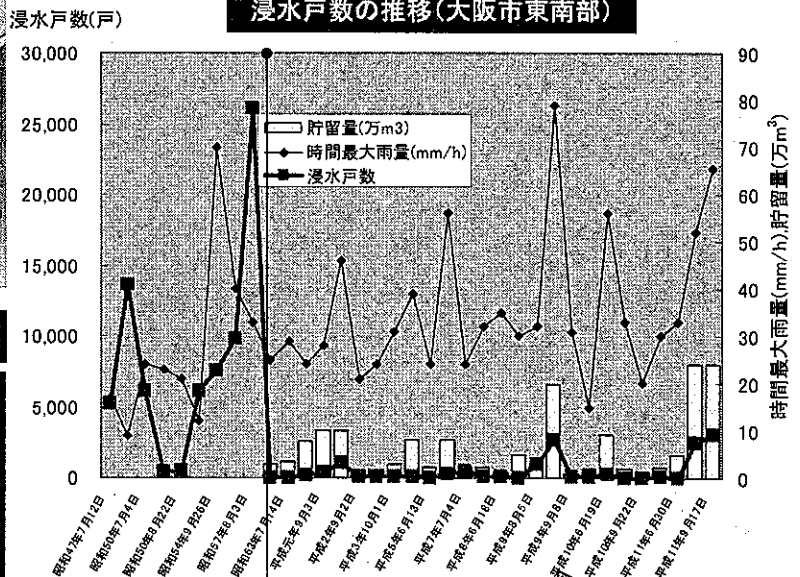
寝屋川南部地下河川の進捗状況



貯留状況(寝屋川南部地下河川【平野川調節池】)



浸水戸数の推移(大阪市東南部)



昭和61年7月
寝屋川南部地下河川-平野川
調節池として供用開始

13